

おかやま  
子育て応援宣言企業

岡山県知事賞贈呈式



おかやま  
子育て応援宣言企業  
知事賞・2023年度

岡山県知事賞を贈呈する企業等

- 医療法人 自由会
- 株式会社 創心會

令和6（2024）年3月22日  
岡 山 県



## 令和5(2023)年度「おかやま子育て応援宣言企業」岡山県知事賞

県では、平成19(2007)年度から、仕事と育児が両立できる環境の整備や、地域における子育て支援等に積極的に取り組むことを宣言した企業・事業所(以下、「企業等」という。)を「おかやま子育て応援宣言企業」として登録しているが、そのうち、取組内容の実現に向けて特に積極的に取り組み、他の模範となる優れた成果があった企業等に、毎年県知事賞を贈呈している。

### 1 贈呈する企業等

(宣言企業登録順)

企業等の名称	主な取組
<b>医療法人 自由会(岡山市)</b> 理事長 橋本 俊明 従業員数:209人 業 種:医療・福祉	○職員へのアンケート結果をもとに、不妊治療休暇制度、不妊治療費補助制度を導入 ○育児休業を取得しやすい社内環境を整えるため、社内研修を実施 (令和2年度~令和4年度:男女とも取得率100%)
<b>株式会社 創心會(倉敷市)</b> 代表取締役 二神 雅一 従業員数:757人 業 種:医療・福祉	○ハッピーリターン制度(育児等で退職した社員が復職を希望する場合、退職時の条件で復職できる)の創設 ○育児休業中の社員に社内報を送付(2か月に1度)するとともに、復職時に働き方相談の場を設置(女性の職場復帰100%)

### 2 選考方法

「おかやま子育て応援宣言企業」表彰推薦有識者会議を経て、決定

役職	氏名	所属
議長	鳥越 良光	岡山商科大学名誉教授
委員	中山 芳一	岡山県子ども・子育て会議会長
委員	脇本 靖	岡山県中小企業団体中央会専務理事
委員	小林 陽一	日本労働組合総連合会岡山県連合会副事務局長
委員	西中 恵己	岡山県地域活動連絡協議会書記
委員	狭間 美恵	厚生労働省岡山労働局雇用環境・均等室長
委員	東 寛	岡山県子ども・福祉部子ども・福祉政策企画監



#### 【参考】

- ・「おかやま子育て応援宣言企業」登録数 1,005 社
- ・「アドバンス企業」認定数 142 社

※いずれも令和6(2024)年2月末時点

# 贈呈する企業等の紹介

## 1 企業等の概要

企業等の 名称	医療法人 自由会					 <small>きめ細やかな配りのある医療を目指します。</small> 特定医療法人 自由会
代表者 職・氏名	理事長 橋本 俊明					
所在地	岡山市	事業内容	医療・福祉	従業員数	209 人	
会社紹介	お客様の状況に応じた最適な医療・介護サービスを提供する医療法人を目指すことを理念として、まずは働きやすい職場環境を整え、職員の質の充実を図っていきます。医療・介護サービスを通じて、地域に貢献しています。					

## 2 子育て応援宣言

- 育児休業を取得しやすい社内環境を整えるため、社内研修を行います。
- 事業所内保育施設の充実に努めます。
- 地域の子供及び高齢者への健全育成活動（健康教室）を積極的に支援します。

### 3 取組状況

#### ○ 時間単位年次有給休暇の導入

取得理由に制限が無く、ちょっとした用事や急用にも気軽に利用できることで職員に喜ばれています。有給休暇取得率の向上の一助になっています。



#### ○ 育児目的休暇の導入

小学校就業前の子どもがいる職員を対象とした年間5日の育児目的の休暇（特別有給）です。行事や看護など理由を問わず申請でき、男性職員の利用も増えています。

#### ○ 短時間正職員制度の一部導入

子育てと仕事の両立のため、小学校卒業までの子どもがいる職員（理学・作業療法士、言語聴覚士）を対象に導入しており、現在9名が制度利用しています。限定導入となっていますが、今後、他職種や介護での利用ができないか検討予定です。



#### ○ 不妊治療休暇及び不妊治療費補助制度の導入

不妊治療について職員アンケートを実施し、特に要望が多かった、受診の援助として男女問わず不妊治療時の休暇と治療費の自己負担分の一部補助を行う制度を取り入れました。

申請についてもプライバシーに配慮しながら行うよう気を付けています。

#### ○ 小規模事業所内保育所の運営

昭和57年に院内託児所として開設し、平成28年から小規模型事業所内保育園として、職員はもちろん、地域のお子さまもお預かりし、地域及び家庭との結びつきを大切にしている運営を行っています。職員は無料で利用できます。また他の保育園を利用している場合は保育手当を支給しています。



## ○ 子ども参観日の実施

夏休みの期間を利用し、職員の子どもが親の働く姿や職場を見学する取組です。職員からも好評で、子どもも喜んでおり、家庭でのコミュニケーションに役立ったとのこと。



## ○ 健康教室の開催や地域事業への参加

近隣地域の公民館などで医師による健康維持や疾病予防の講演、フィットネスインストラクターによる体操指導などを行っています。

また、地域の行事などにも積極的に参加しています。お祭りでは、法人のフィットネスインストラクターと保育士が地域の子どもたちが遊べる場所を提供しています。

今後、「暮らしの保健室」（困ったことなどを相談できる場所、気軽に立ち寄りくつろげる場所）を開設予定です。



## ○ 男性職員の育児休業取得の推進

直近3年間の育児休業取得率は男女とも100%でした。（令和4年度男性職員は対象者なし）

法律の改正もありましたが、職員へは制度の中身を周知し引き続き取得できるよう配慮しています。




## ○ 有給休暇取得率の向上

有給休暇取得率100%を目標に取り組んでいます。令和4年度実績は92.1%。部署や職種によってはどうしても取得しきれないこともあるので有給休暇積立制度も導入しています。

# 贈呈する企業等の紹介

## 1 企業等の概要

企業等の 名称	株式会社 創心會					
代表者 職・氏名	代表取締役 二神 雅一					
所在地	倉敷市	事業内容	医療・福祉	従業員数	757 人	
会社紹介	<p>1996年創業、訪問リハビリやデイサービスを中心としたトータルケア事業を展開。将来の日本の在宅医療・介護の在り方を見据え、ご利用者様の生活・人生の回復を目指します。グループ会社ではクリニックや農福連携による障害者の就労支援事業も行っており、自立支援に資する新たな取組にも挑戦し続けています。</p>					

## 2 子育て応援宣言

- 従業員の仕事と育児の両立を積極的に促進する「イクボス」になることを宣言します。
- 事業所内保育所の運営（高齢者デイサービス施設と併設しており、多世代交流のイベントをたくさん準備しています。）
- 育児休業復帰後の短時間勤務を小学校入学まで申請により取得可能
- 育児休業取得及び取得後の復帰率
- ハッピーリターン制度（育児休業等で退職されたスタッフが復職を希望した場合、退職時の条件で復職が可能です。）
- 育児休業中のスタッフに社内報を送付する等、お休みスタッフへの復帰しやすい環境づくりを推進します。

### 3 取組状況

#### ○ 「イクボス」を応援！

2018年に「おかやま子育て応援宣言企業」に登録されて以降、男性の育児休業取得者が増えました。男性の育児参加を応援する社風もあり、会社のイベントに親子で参加する職員もよく見かけます。

また、子どもの学校行事やイベント、急な病気・用事等でも休暇をとりやすいよう、部署の垣根を越えてフォローし合える環境があります。2017年に倉敷市男女共同参画推進事業所に認定され、認証の更新も続けています。



#### ○ 事業所内保育所の併設

職場の高齢者福祉施設に併設した小規模型事業所内保育所があり、0～2歳児の受け入れを行っています。高齢者施設と一緒に季節の行事を行うなど積極的に多世代交流も図っています。希望者には、保育士による子育て相談も行っており、3歳以降の受け皿についても、地域の認可保育所を連携施設として協力体制があります。また、祝日は従業員枠での一時預かりが可能で、多くの職員が利用しています。



#### ○ 育児休業取得、復帰率、短時間正職員制度

2022年度は女性の育児休業取得率100%、復帰率100%です。復帰後は、短時間正職員制度も利用できます。この制度は、子どもが3歳以降も、申請により、小学校入学前まで延長して利用することができ、職員のワークライフバランスに応じた働き方が可能です。





## ○ ハッピーリターン制度

育児や家庭の都合により退職した職員が復帰を希望した場合、退職時の条件で復職が可能な制度があります。実際に、配偶者の転勤により退職した職員が、県内に戻って来た際にハッピーリターン制度を利用した例もあり、専門的な知識や経験を持った職員の復職支援を積極的に行っています。



## ○ 育児休業取得者の復職への支援

人事部が中心となり育児休業中の職員に、2カ月に1度、創心會グループの情報を掲載した社外報を送付しています。送付時には人事部からお手紙を添えるなど、会社とのコミュニケーションを定期的にとることで、復帰前の不安を取り除き、安心して職場復帰できるように支援しています。



<知事賞贈呈式写真>

